

人間環境大学

大学院案内

2021年度 入学案内



人間環境学研究科

〈 修士課程 〉



看護学研究科

〈 博士前期課程 〉 〈 博士後期課程 〉



いのち・こころ・環境の未来を創造する大学

人間環境大学

UNIVERSITY OF HUMAN ENVIRONMENTS

「いのち」「こころ」「環境」を学び、
実践する力を培う大学へ

人間環境大学 学長

牧山 助友

2007年～2011年 東京学芸大学副学長
2011年～2016年 日本芸術文化振興会審議役
2016年～ 現職

◆学会・社会活動など
大学行政管理学会会員・教員養成評価機構評議員
評価委員会委員・教育支援人材認証協合理事



1999年12月 人間環境大学人間環境学部人間環境学科設置認可
2000年04月 人間環境大学開学
人間環境学部人間環境学科開設
2002年12月 大学院人間環境学研究科人間環境専攻(修士課程)設置認可
2003年04月 大学院人間環境学研究科人間環境専攻(修士課程)開設
臨床心理相談室開設
2009年09月 環境教育センター開設
2014年01月 学校法人河原学園となる
2014年12月 看護学部看護学科設置認可
大学院看護学研究科看護学専攻
(博士前期課程・博士後期課程)設置認可



阿曽キャンパス

2015年03月 大府キャンパス開設
2015年04月 大学開学15周年
看護学部看護学科開設
大学院看護学研究科看護学専攻
(博士前期課程・博士後期課程)開設
人間環境学部心理学科開設
人間環境学部環境科学科開設
松山看護学部看護学科開設
松山キャンパス開設
2020年04月 大学開学20周年
大学院看護学研究科 助産師養成課程 開設

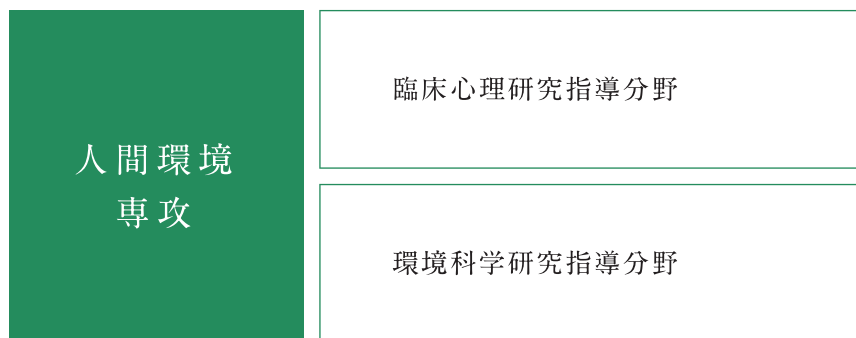


大府キャンパス



松山キャンパス

大学院 人間環境学研究科 〈修士課程〉



※ 令和3年4月1日より、上記の通り研究指導分野を変更予定です。

大学院 看護学研究科 〈博士前期課程〉〈博士後期課程〉



Contents

	人間環境学研究科〈修士課程〉	看護学研究科〈博士前期課程〉〈博士後期課程〉
03 人間環境学研究科 Topics 臨床心理士合格実績 / 指導教員からのメッセージ	05 研究科概要	09 教育の理念 / 分野紹介
04 看護学研究科 Topics 【新設】助産学分野の特長 / 学生メッセージ	06 人間環境研究指導分野 人間環境研究指導分野教員紹介	10 看護学研究科領域紹介
	07 臨床心理研究指導分野	11 看護学研究科〈博士前期課程〉
	08 臨床心理研究指導分野教員紹介 人間環境専攻共通科目担当教員紹介	12 看護学研究科〈博士後期課程〉
		13-14 看護学研究科教員紹介

人間環境学研究科〈修士課程〉



修士課程

2年	臨床心理研究指導分野	臨床心理士 / 公認心理師
2年	人間環境研究指導分野	環境問題に関する総合的な知識と洞察力を修得

TOPICS

臨床心理士

日本臨床心理士資格認定協会資格試験

本学第14期修了生の合格率

100%を達成!

(大学院開設後16年間)

合格者100名 (合計合格率)
受験者106名 (94.3%)

(参考) 全国平均合格実績 平成29年度65.5% 平成30年度63.6%

合格者は臨床心理士として、単科精神科病院、総合病院・大学病院の精神科、メンタルクリニック、児童福祉関係機関、教育機関(小・中学校のスクールカウンセラーなど)などで活躍しています。

実習重視の研究環境

大学付設の臨床心理相談室や学外の精神科病院、メンタルクリニック、学校・施設などでも積極的に実習を行っています。

人間環境大学附属臨床心理相談室

人間環境大学附属臨床心理相談室は、子どもたちをはじめとして、さまざまな「こころ・からだ」の問題を抱える方への相談室として開設され、毎月延べ100件を超えるクライアントへの心理相談(カウンセリング)を行い、地域に貢献しています。また、この相談室は、人間環境大学大学院の実習施設でもあり、本学大学院生が、未来の臨床心理士を目指し、教員の厳しい指導のもと、カウンセリングや遊戯療法に取り組んでいます。

指導教員からのメッセージ

指導教員 から

誠実にクライアントの手助けができる
臨床心理士になって欲しい

人間環境大学大学院における臨床心理学の教育は、何よりも、クライアントに誠実に対応でき、手助けできる臨床心理士を育成することを目標にしています。そのために大学院での心理学教育では、机上の勉強だけではなく、実習時間をかなり多く、長くしています。学外の病院や施設などでの体験は、非常にハードかも知れませんが、でも、それをくぐり抜け、現場で役に立つ人材が一人でも多く育ってくることを願っています。



教授 渡辺 雄三 臨床心理士

関西大学博士(社会学)、学位論文「精神分裂病患者に対する心理療法の臨床心理的研究」(見洋書房)、名古屋大学工学部中退。著書「私説・臨床心理学の方法」「臨床心理士の仕事の仕方」「自己実現と心理療法」など多数。長年、精神病院に勤務し精神医学と連携し、ユング心理学に基づく心理療法の研究を進めてきた。また東海地区における臨床心理士の指導的立場にもある。東海開業臨床心理士協会元会長。

指導教員 から

「心の専門家」に至る道は、
出会いと発見の心の旅、
自分自身に至る自己探求の道!

臨床心理士＝「心の専門家」に至る道は、自分自身に至る道。生涯続く自己探求の道程です。専門家としての心理臨床リテラシーの習得は必要ですが、個と出会い、かかわることは、サイコセラピー・カウンセリング以上のもの。相互に影響を与え合い、一人の人間としての発達成長と不可分です。それは、自他と出会い、発見と探求の道を同行する心の旅。今日の日はいつでも、これから往く人生の始まりです。



教授 伊藤 義美 臨床心理士・公認心理師

名古屋大学博士(教育心理学)。名古屋大学名誉教授。名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程満了。専門は臨床心理学、カウンセリング心理学。パーソンセンタード・アプローチ(PCA)、グループアプローチ、フォーカシングおよびフォーカシング指向アプローチを研究テーマとする。著書「フォーカシングの空間づくりに関する研究」「パーソンセンタード・アプローチの挑戦」など。日本人間性心理学会理事長、東海相談学会会長などを務めている。

看護学研究科〈博士前期課程〉〈博士後期課程〉

看護学
研究科
の学び

大学院

2年	博士前期課程	実践リーダー / 管理者 / 教育者
3年	博士後期課程	研究者 / 教育者

※助産師実践コースでは、助産師資格の取得を目指すことができます。

TOPICS

2020年4月、 愛知県内の私立看護系大学院で初めて「助産師教育課程」を開設。

人間環境大学は、学部、大学院博士前期課程・博士後期課程の三課程を有する日本で数少ない総合看護教育機関であり、系統的な教育により専門性の高い高度実践を適える助産師育成の実現が可能です。

博士前期課程修了後に、博士後期課程において、さらに深く発展的に将来の助産学の研究者として学修を重ねることもできます。

これからの助産師は、正常産のみならずハイリスク妊婦・新生児への対応や女性の生涯にわたる健康問題への対応能力、そして周産期医療の課題を分析して変革する視点をもつことが求められています。人間環境大学大学院看護学研究科では、修士の学位をもち、エビデンスに基づく高度助産実践能力を発揮して、本学が立地する大府市近隣を中心に地域に視野を広げ、現状を分析できる研究能力を備えたリーダー・管理者・教育者を目指す助産師を育成します。



人間環境大学 大府キャンパス

POINT 1

ハイリスクに対する 助産実践の強化

正常産を自律して診断し、さらに緊急・異常時に対応できる臨床推論力を培います。社会的課題に対応できる身体的・心理社会的ハイリスクに対する助産実践を強化します。

POINT 2

対話力の強化 臨床心理研究指導分野 との共同演習

生命と人間を尊重し、性と生殖に関する健康や権利および意思決定、さらには倫理的問題に対応できる能力を育成するために徹底した対話力の強化を図ります。

POINT 3

臨床のリーダーとなる コーディネート力

助産師としてのリーダーシップを発揮し、他職種と連携・協働・調整ができる能力を育成するために、臨床助産のリーダーとなる高度助産実践を強化します。

POINT 4

取得学位 修士(助産学)

母子保健や周産期を取り巻くさまざまな課題をとらえ、助産ケアに取り組む能力を育成するために、臨床に応用・還元できる助産学研究を指導します。

学生メッセージ



看護学研究科 博士前期課程

曽我 紘衣 さん

生命の尊さ、素晴らしい魅力を感じ、私も生命の誕生の瞬間に立ち合い、家族が増えて新しい生活への第一歩に寄り添える助産師になりたいと強く思い助産師を目指しました。

大学院で助産師を目指す魅力は、研究を通して助産実践ケアを様々な視点から考えることができることです。本学では、正常産だけでなく、ハイリスクにも対応できる実践能力を身に付けられることや、妊産婦だけでなく、女性の生涯の健康問題にも視野を広げ、臨床に応用、還元できる学びがあることに魅力を感じています。授業では、少人数でのディスカッションを行い、自分の意見や考えを問われる機会が多いです。大学院は少人数のため先生方にも積極的に質問でき、日々知識が増えていくことで助産学の楽しさを感じています。

将来は、ハイリスクにも対応できるよう幅広い知識と技術をもち、妊産婦さんや家族に寄り添える助産師になりたいと思っています。



人間環境学研究科長
磯貝 明

「人」と「人をとりまく環境」について総合的に研究します。

人間環境学研究科には、「臨床心理研究指導分野」と「環境科学研究指導分野」があります。臨床心理研究指導分野は、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院であり、修了後には臨床心理士資格試験の受験資格が得られます。そのため、大学院開設以来、多くの臨床心理士を養成してきました。臨床心理士となった修了生は、単科精神科病院、総合病院・大学病院の精神科、メンタルクリニック、児童福祉関係機関、教育機関（小中学校のスクールカウンセラーなど）などで活躍しています。また、新たな国家資格「公認心理師」の受験資格に対応した科目も整備しています。精神やこころのはたらきを、表出される言葉や行動のみでなく、夢やイメージなど無意識の探求を通じて解明します。病院、施設、学校などにおける実習が充実していることも特長です。

また、環境科学研究指導分野では、環境問題に関する総合的な知識と洞察力を習得すべく、環境と関わる人間とその活動について探求します。

名古屋大学博士（経済学）。名古屋大学経済学部助手、日本学術振興会特別研究員（PD）、本学准教授を経て現職。博士學位論文「わが国における税効果会計の制度論的研究」。

教育・研究の理念

人間にとっての「環境」とは、単にその中に存在し活動するといった意味をもつだけでなく、自らが創造し利用するといった意味ももっています。しかし、地球温暖化や家庭崩壊といった現代社会の抱える問題に代表されるように、人間と環境の関係は危機的な状況にあります。そして、このような結果を招いた背後には、人間と環境の関わりを単純な関係に還元して理解してきた近代科学や学問研究のありかたに根本的な問題があると考えられます。さらには、新たな脅威となった感染症蔓延に対しても、私たちは新たな生活様式の構築が求められています。

このような認識に立脚して、人間と環境の関わりを問い直し、学問の根本からの改革を実現していくことが、本研究科の研究・教育の目的となります。そして、今日教育やモラルの問題が、教養教育、人格教育の欠如にあるという認識のもとに、人類社会に貢献する人格の育成にも積極的に取り組んでいきます。

教育・研究の特色

人間と環境の関わりについて総合的に研究することを目的として、本研究科では、3つのアスペクトから研究・教育をすすめています。

第一のアスペクトは、現代社会が陥っている精神の危機的状況を分析し、その危機を克服していくことです。

第二のアスペクトは、科学技術や経済活動の発展と地球環境の保護といった対立する問題の解決に取り組み、豊かな未来を創出するために有効な方法を見出すことです。

そして第三のアスペクトは、人間がこれまでの歴史のなかで形成してきた技術、芸術、文学、思想などの文化環境を振り返って考察することです。

本研究科では、これらの3つのアスペクトに対応して、臨床心理研究指導分野、環境科学研究指導分野、および人間環境専攻共通科目によって、横断的かつ総合的な研究を可能にするカリキュラムが編成されています。学生は、研究指導を受ける教員が担当する演習・実習科目や講義科目を受講するだけでなく、各分野すべての科目を受講することによって、「人間環境学」を修めることになります。



※ 令和3年4月1日より、上記の通り研究指導分野を変更予定です。

人間環境学研究科

環境科学研究指導分野

環境問題に関する総合的な知識と洞察力を修得します。

環境科学研究指導分野では、環境を、人間の存在と諸活動の基盤になると同時に、その人間によってたえず形成されていくものであるという基本理解に立ち、教育研究を実践しています。したがって、環境とかかわる人間とその活動について深く理解したうえで、経済活動や、環境の評価、保全、リスク管理、それらを統括するデータアナリシス、さらには野生動物学や開発人類学など、問題の本質に目を向けた様々な研究を行っています。

こうした環境科学研究指導分野での学びにより、環境問題の科学技術、文化、政策、社会、経済などの諸側面がかかわる対立的な問題に対する総合的な知識と洞察力を身につけ、問題の本質を立体的に把握することができる人材となることが期待されます。修士課程修了後の進路には、環境科学分野の研究者になるために、他大学の博士課程、及び博士後期課程へ進学することがあげられます。また、地球環境や経済活動についての高度な知識を必要とする職業に就き、わが国の諸産業が直面する問題を解決していくという道もあります。

【授業科目】 環境経済学特論、環境リスク管理演習、野生動物学特論、開発人類学特論、データアナリシス演習、環境保全特論、企業会計演習 など（予定）

環境科学研究指導分野 | 教員紹介（予定）



研究科長 教授 磯貝 明

名古屋大学博士（経済学）。
名古屋大学経済学部助手、日本学術振興会特別研究員（PD）、
本学准教授を経て現職。博士學位論文「わが国における税効果
会計の制度論的研究」。



教授 山根 卓二

京都大学博士（経済学）。
学位論文「環境認識と経済理論」。環境経済学の様々なアプ
ローチから豊かな自然・生活を実現する道について考える。



教授 薄井 智貴

名古屋大学博士（工学）。
東京大学空間情報科学研究センター助教、名古屋大学グリーン
モビリティ連携研究センター講師、名古屋大学大学院経済学研究
科准教授を経て、2019年より現職。専門は交通工学、空間情報学。



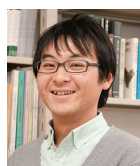
准教授 藤井 芳一

横浜国立大学博士（環境学）。
人間環境大学人間環境学部卒業。国立環境研究所アシスタント
スタッフ、農業環境技術研究所契約研究員、人間環境大学
環境教育センター助手、同助教を経て現職。専門は、土壌生物
と物質循環、土壌生態毒性学。



講師 谷地 俊二

横浜国立大学博士（環境学）。
人間環境大学人間環境学部卒業。農業環境技術研究所特別
研究員を経て現職。専門は環境リスク学。水田農業の生物影響
と環境中濃度について研究。



講師 立脇 隆文

横浜国立大学博士（環境学）。
兵庫県森林動物研究センター協力研究員を経て、2016年より
現職。中大型野生哺乳類などの生態や保護・管理についての
研究に取り組む。



講師 西田 美紀

長崎大学博士（海洋科学）。
同大学院博士研究員を経て、2018年より現職。イルカ類を対象
とした社会生態学的研究に取り組む。



助教 小谷 博光

横浜国立大学博士（学術）。
海外で野菜栽培指導（青年海外協力隊）や経済開発プロジェクト
（国連ボランティア）に従事し、国際協力を実践。その後、横浜国立
大学産学官連携研究員などを経て、2019年より現職。開発援助
が与える人々への影響を研究テーマとしている。

臨床心理研究指導分野

臨床心理士・（国家資格）公認心理師の資格取得を目指します。

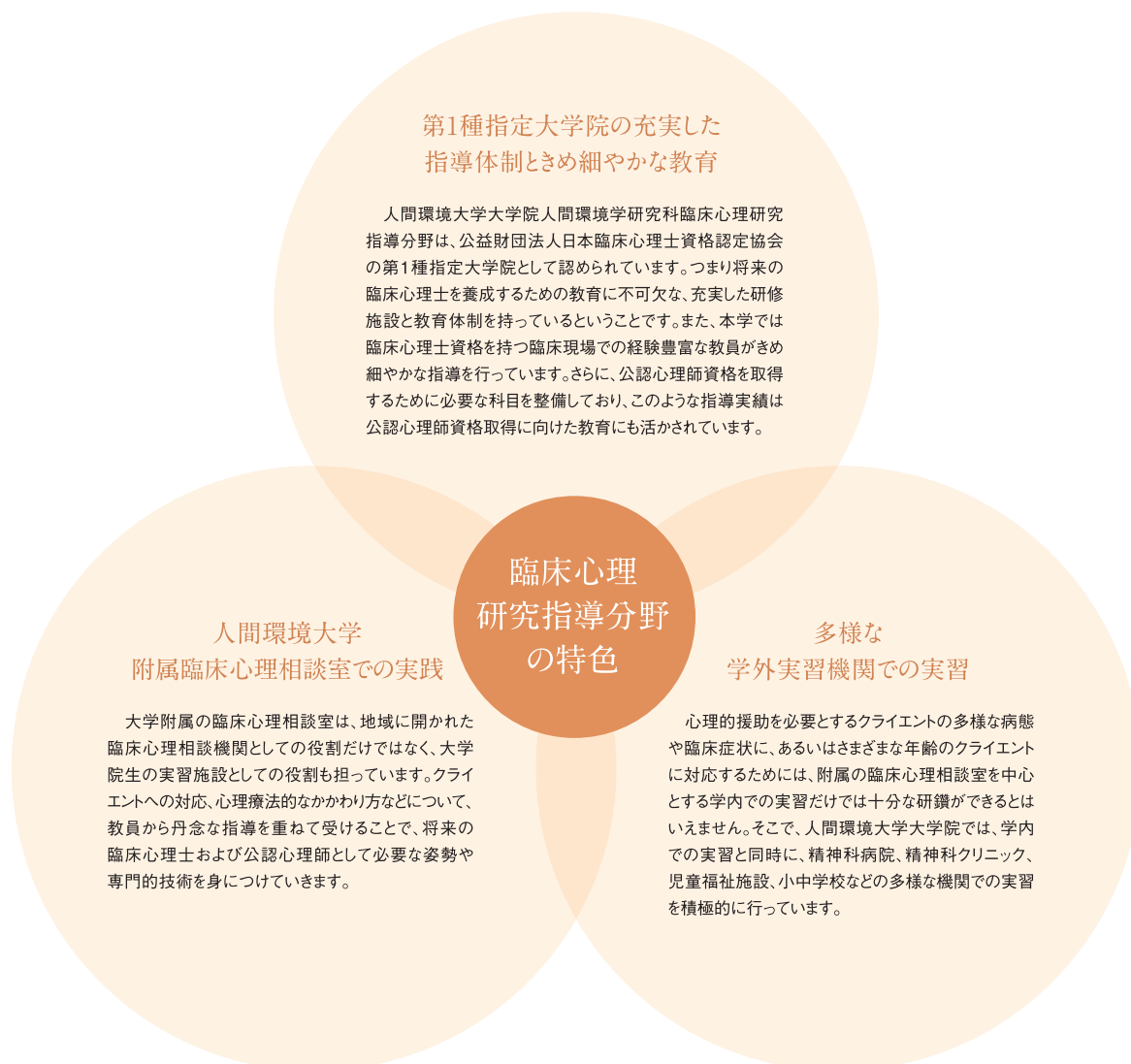
現代社会の危機は人間の精神の領域においても、いじめ、不登校、自殺、犯罪、そしてさまざまな精神疾患など、深刻な問題をもたらしています。この精神の危機状況に対して、人々の心を援助しようとする臨床心理学の研究と、その職業実践家としての臨床心理士の養成、および、心の健康の維持を担う公認心理師の養成は、現代の日本社会の切実な課題として求められています。

人間環境大学大学院人間環境学研究科の臨床心理研究指導分野では、臨床心理士資格認定協会のガイドラインに沿った科目編成がなされ、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定されています。臨床心理の理論的支柱と専門的技法について学び、さらには心に対する深い洞察の大切さを探究して、大学院修了後は臨床心理士の資格取得を目指します。そして、専門的な臨床心理学的手法を身につけた職業人として、社会で活躍していきます。また、大学学部で所定の科目を修めて卒業した後、本研究科において所定の科目を修めて修了することで、国家資格である公認心理師の資格取得を目指すこともできます。公認心理師試験に合格し登録することで、国家資格を持つ心の専門家として社会に貢献していくことも期待されます。

研究コースで研究を深めます。

さらに、臨床心理研究指導分野に新たに設置された研究コースにおいては、認知心理学、社会心理学、犯罪心理学などの研究領域における最先端の研究を深めていくことができます。修士課程修了後、博士後期課程進学への道も開けます。

【授業科目】 臨床心理学特論、臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ、心理実践実習A・B、認知心理学特論、社会心理学特論、犯罪心理学特論 など（予定）



臨床心理研究指導分野 | 教員紹介 (予定)



教授 渡辺 雄三

臨床心理士。社会学博士(関西大学)。

クライアントをいかに理解し、手助けするかという「心理療法」について、臨床現場での実践を続けながら、研究の関心を持ちつづけている。そして、「心理療法」とは、「心理療法家(臨床心理士)の存在とその関係による手助け」という考えに至り、研究としてまとめている。



教授 伊藤 義美

臨床心理士・公認心理師。国際フォーカシング研究所(米国)認定フォーカシング・コーディネーター。日本人間性心理学会理事長。名古屋大学博士(教育心理学)。

パーソンセンタード・アプローチ(PCA)、特にパーソンセンタード・セラピー、フォーカシング指向心理療法及びエンカウンターグループに関する実践と研究及び教育訓練に取り組んできている。



教授 山田 麻紗子

臨床心理士・公認心理師。早稲田大学教育学部卒業。

家庭裁判所調査官としての豊富な経験を基盤とし、少年事件、非行、児童虐待事例などについて研究を行ってきた。多数の鑑定事例や支援事例から、人格形成や更生への重要な示唆を導き出している。



准教授 高橋 蔵人

臨床心理士・公認心理師。愛知教育大学大学院教育学研究科修了。

精神科医療領域を中心に養護施設や産業領域でも心理臨床経験を積み重ねてきた。専門は心理療法、カウンセリング学。よりよい心理的援助のあり方を研究している。



准教授 三後 美紀

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

職場のメンタルヘルスと人間関係に関する研究や、青年期における進路選択に関する研究に取り組んできた。近年は児童福祉施設職員のキャリア発達について関心を持っている。



准教授 吉武 久美

名古屋大学博士(心理学)。名古屋大学大学院教育発達科学研究科後期課程修了。

行動や判断への社会的評価や個人特性などが、社会的行動の合意性推定に及ぼす影響について研究している。また、災害に備えた心理教育について共同研究を行っている。



准教授 坂本 真也

臨床心理士・公認心理師。人間環境大学大学院人間環境学研究科修了。愛知学院大学大学院心身科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

学校現場において、子どもをより効果的に援助していくため、SC・教員・保護者の連携・協働のあり方および必要性、さらに地域を含めた心理臨床的援助についても研究を進めている。



講師 西山 めぐみ

名古屋大学博士(心理学)。

専門は認知心理学。認知機能を支える記憶の性質(長期持続性、潜在記憶)とそのメカニズムについて、また、記憶がわたしたちの行動に及ぼす影響について、認知心理学的手法を用いて検討を行っている。



講師 丸山 宏樹

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

私立大学の学生相談、公立小中学校のスクールカウンセラーなどの勤務を経て現職。臨床、発達、文化にまたがって実践、研究に取り組んでいる。



講師 星 あづさ

臨床心理士・公認心理師。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。

法務省矯正局心理技官として少年鑑別所や刑務所にて、非行少年や犯罪者の心理査定・カウンセリング・グループワークなどを実践。特に(性)犯罪者のパーソナリティに関心がある。



講師 蔵富 恵

愛知淑徳大学博士(心理学)。

北海道大学学術研究員、高知工科大学客員研究員、愛知淑徳大学専任講師を経て現職。専門は認知心理学、発達心理学。注意と動機づけの相互作用や高齢者の認知機能を研究テーマとしている。



講師 大隅 尚広

名古屋大学博士(心理学)。

日本学術振興会特別研究員PD、広島修道大学助教、国立精神・神経医療研究センター研究員を経て現職。サイコパスの特徴や責任能力に関わる認知機能などの研究に取り組んでいる。

人間環境専攻 共通科目担当 | 教員紹介 (予定)



教授 渡 昌弘

東北大学博士(文学)。

中国明代における制度をテーマとした論文あり。訳書『明代社会経済史研究』、『明代政治史研究』。



教授 花井 しおり

奈良女子大学博士(文学)。

共著『セミナー 万葉の歌人と作品 第8巻』、『井手至先生古稀記念論文集 国語国文学漢』(和泉書院)、『万葉集一日一首』(到知出版社)など。



教授 菅原 太

関西大学博士(文化交渉学)。

美術家。京都市立芸術大学大学院絵画専攻日本画修士課程修了。作品発表のほか学位論文『動画として見る十二世紀東アジア絵画』等の学術論文あり。



助教 城田 純平

名古屋大学博士(文学)。

専門は哲学。20世紀ドイツの哲学者マルティン・ハイデガーを中心に研究している。哲学・思想全般および教育、芸術にも関心がある。



看護学研究科長
篠崎 恵美子

研究者・教育者・管理者を育成する「総合看護教育機関」です。

看護学研究科には、博士前期課程、博士後期課程がありグローバル社会の中で社会貢献と自己実現を目指す研究者・教育者・管理者を育成する「総合看護教育機関」です。

博士前期課程では、看護活動現場の改善と改革を行い良質なサービスによる社会貢献を目指してリーダー・管理者・教育者として活躍できる人材を育成します。

博士後期課程では、卓越した研究能力をもって看護活動現場の变革と看護を实践科学として発展させる社会貢献を目指し、創造的で自立した看護研究者と教育者として活躍できる人材を育成します。

2020年4月には、「助産師教育課程」を愛知県内の私立看護系大学院で初めて開設しました。博士前期課程には「助産学実践コース(助産師養成課程)」があり、助産師を目指すことができます。博士後期課程では、より専門的に助産学について研究できます。

博士(看護学)。名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。専門は基礎看護学。フィジカルアセスメント、コミュニケーション、模擬患者を研究のテーマとしている。

看護学研究科の教育理念

本学看護学研究科の教育理念は、深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深め健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することです。即ち、看護現場における変革と看護を实践科学として発展させることや社会貢献できる卓越した高度で専門性の高い人材を輩出することであり、博士前期・後期課程の共通理念の中核としています。

社会的ニーズに対応したカリキュラム

幅広い研究分野と専門領域での教育・研究(4分野8領域)

■ 看護教育管理学分野

看護学を学ぶ人に効果的な教育をするために、どのような目的と方法でプログラム化し展開するかを追究して看護教育の改善・改革を目指します。また、複雑化・多様化する健康ニーズに対して看護現場の組織構造等の改善・改革、政策的提案方法等を追究します。

■ 実践看護学分野

あらゆる対象におけるエンド・オブ・ライフを支援するエンド・オブ・ライフケア看護学領域と、人間を生涯発達する存在であるとする生涯発達看護学領域とで構成され、対象のさまざまな課題に対する支援を追究します。

■ 広域看護学分野

地域看護学と国際保健看護学で構成され、全年齢を対象として、地域で生活する場を中心に行う看護と国際的な課題に取り組む広い視野で看護を捉え、包括的に支援できる高度実践者と研究と教育の方向から役割が果たせる人材の育成を目指します。

■ 助産学分野 (2020年4月新設)

前期課程助産学実践コースでは正常分娩への高度実践、ハイリスク妊産婦への助産ケアを学び、臨床への応用研究を行うことで修士(助産学)を取得します。後期課程では広く助産学理論の構築やエビデンスの創造ができる博士(助産学)の育成を目指しています。

長期履修制度について

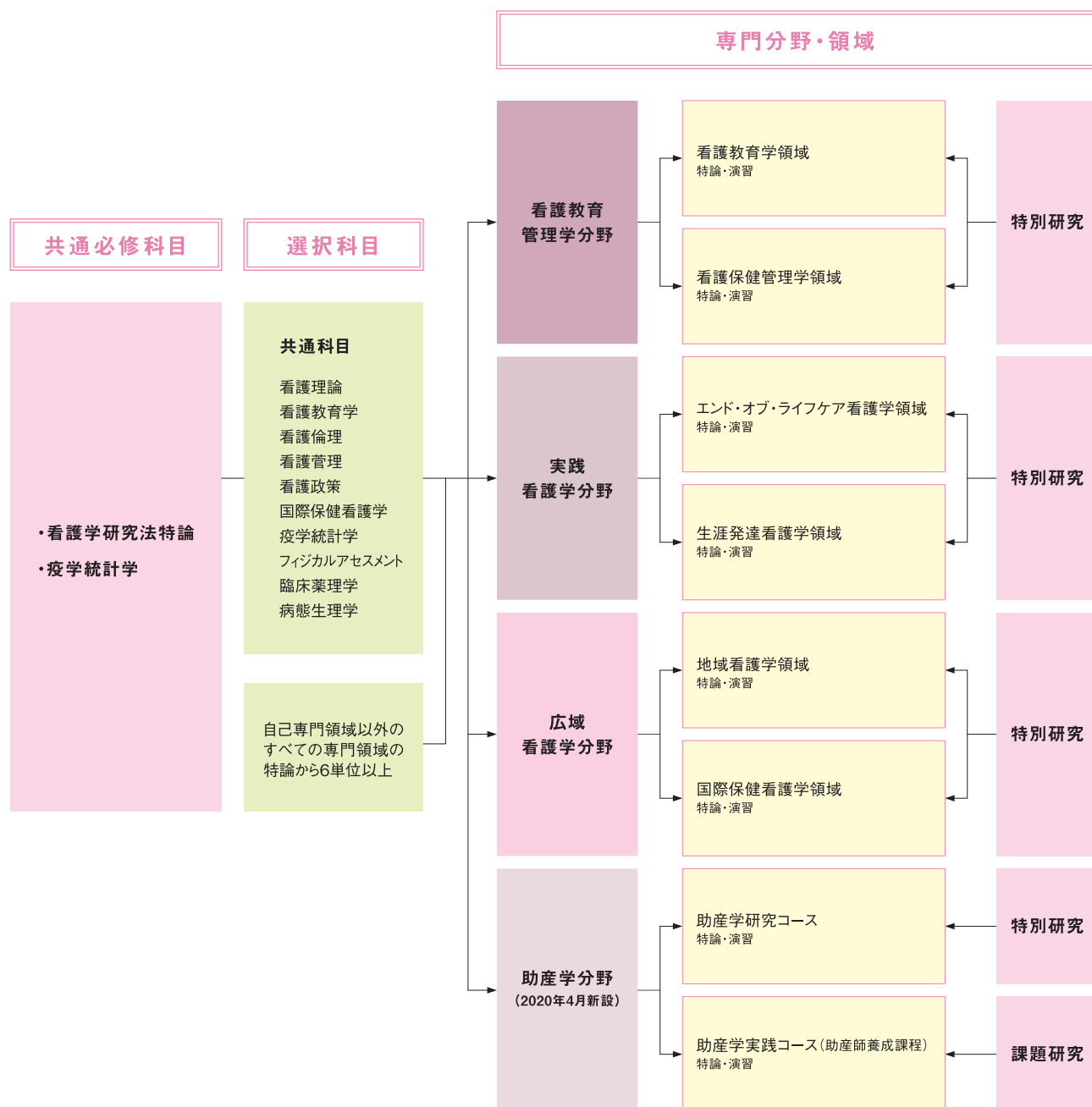
学生が職業を有している等の事情により、標準修学年限を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。仕事などとの両立を図りながら修了をめざすことができます。詳細等は学生募集要項で確認してください。(助産学実践コース(助産師養成課程)を除く。)

分野名	領域名	博士前期課程の概要	博士後期課程の概要
看護教育管理学分野	看護教育学領域 特論・演習	国民の健康ニーズに対し、効果的効率的に看護活動を進めることができるリーダー・管理者・教育者の育成を目指しています。今日の多岐にわたる看護基礎教育制度を概観し、それに至った歴史的背景、教育制度上の教育特性、教育の質向上のための教育内容・教育方法・教育環境等の諸課題に取り組みます。さらに、看護学における発展と社会に貢献する研究者を育成するための教育指導方法、教育評価、学修理論などを追究します。	看護学を実践の科学として発展させる新規性・活動的な独創性をもつ自立した研究者としての能力及び教育能力を持った高度な看護人材の育成を目指しています。看護学を学ぶ者に効果的な教育を実践するために、どのような目的と方法でプログラム化し、展開するかを追究します。すなわち、教育指導方法、教育評価、学修理論の構築・開発を追究することで、看護教育の改善・改革を目指します。
	看護保健管理学領域 特論・演習	近年、地域包括ケアが推進されています。医療機関での臨床現場における看護管理のみならず、地域における継続ケアを視野にいれた幅広い保健管理が求められています。これらのことを踏まえ、本領域名を看護保健管理学と命名しています。博士前期課程における研究では、主に地域医療の質向上にむけた看護実践の活動に結びつく課題に取り組むことが期待されます。	複雑多岐にわたる現代社会生活において、看護学のみならず看護学周辺領域の学問体系的考え方にもふれながら、医療の質とは何かを探索し、看護の質向上のための方策をみいだすことが求められています。博士後期課程の研究をとおして、組織や対象の特性を踏まえたプログラムの開発や、科学的な看護実践の探究が臨床現場や政策への提言に結びつくことが期待されます。
実践看護学分野	エンド・オブ・ライフケア看護学領域 特論・演習	総合的に質の高いエンドオブライフケアを提供するために、エンドステージにある患者と家族のケアニーズの特徴を理解し、QOLとQODD (Quality of Death and Dying) を高めるケア方法を検討します。また、エンドオブライフケアに関連する理論や概念を理解し、エンドオブライフケア看護学の科学的思考力と実践力の向上を目指します。	エンドオブライフケア看護学では、終末期ケア学研究やがん看護学研究で生成された理論・概念・モデルを基盤に、わが国の社会文化を反映したエンドオブライフケア看護学を探索します。さらに終末期におけるがん・非がんのあらゆる対象者の心身ニーズの対応、家族支援を含めた終末期患者のQOL・QODDを高めることに貢献できる研究力を育成します。
	生涯発達看護学領域 特論・演習	人間の一生涯を発達のプロセスとしてとらえる生涯発達の観点から、現代社会の特徴が発達段階各期におよぼす影響や、発達段階各期の対象のさまざまな現代的課題を理解し、対象への質の高い看護実践の追究と適用を目指して、実践的な研究に取り組みます。	人間の生涯発達にかかわるあらゆる課題を抱える対象への看護の質保証を重視し、グローバルで学際的な視点をもち、革新的で独創的なケアプログラム開発やケアシステムの開発などを行い、専門的で高度な実践と研究の相互発展によって、新たな知見を創造する研究に取り組みます。
広域看護学分野	地域看護学領域 特論・演習	公衆衛生看護学の理論と実践技術を理論的に学習し、行政保健・産業保健分野・国内外の先駆的な活動実践例より地域に生活する人々の生活の質向上のための専門的な看護実践課題を探索します。在宅看護学の諸概念と在宅ケア利用者の満足度、リスク要因、意思決定支援、アウトカム評価の学習に併せて国内外の在宅ケアシステムを学び在宅看護の実践力を体系的に獲得します。	地域の人々の健康水準の向上を目指して、地域看護の実践と研究の相互関係的な進め方を講義と討論を中心として展開する。エビデンスに基づいた地域看護活動の方向性と地域看護活動課題を見出し、健康に関連する諸要因を明らかにし、課題解決に向けて具体的な行動に移せるよう地域の人々と関係者と協働してPDCAサイクルが回せるようになることをねらいとしています。
	国際保健看護学領域 特論・演習	健康や看護にかかわる国際的な問題をテーマにした研究を行います。特に前期課程では、世界のヘルスの基礎と日本を訪れている外国人のヘルスを学び、現地のフィールド、もしくは日本での調査から論文を完成します。さらに、将来、大学で国際保健看護学を教えることのできるカリキュラムとしています。	国際的な健康や看護にかかわる問題をテーマにした研究を行います。特に後期課程では、現地のフィールド、もしくは日本での調査から論文を完成します。英語の論文読解を充実させること希望者は英語論文投稿を目指します。さらに、将来、大学院で国際保健看護学を教えることのできるカリキュラムとしています。
助産学分野 (2020年4月新設)	前期		後期
	助産学研究コース 特論・演習	助産学研究コースは、助産師の資格を持ち、実践現場の課題に対してリサーチマインドをもって探索します。分娩期における生物学的研究、周産期ハイリスクに対する支援、子育て支援等の課題に取り組みます。修了後は修士(助産学)の学位をもち、助産師のリーダー・管理者・教育者となり助産師の質の向上に貢献できる人材の育成を目指します。	助産学の研究者として、国内外において自立的に研究活動ができる人材を育成します。助産周辺の様々な課題に対して、グローバルな研究的視点をもって解決する研究能力と、他職種と連携協力し、優れたイニシアティブを持つ人間性を醸成します。広く助産学の発展に寄与できる理論の構築やエビデンスの創造や集積ができる博士(助産学)の育成を目指します。
	助産学実践コース (助産師養成課程) 特論・演習・実習	助産学実践コースは、愛知県内の私立看護系大学院で初めて開設した助産師養成課程です。エビデンスに基づく高度実践能力と、様々な現状を分析できる研究能力を備えた臨床助産のリーダーを育成します。助産師学校指定規則を5単位増やした33単位に加え、博士前期課程の修了要件30単位を修得します。修了後は修士(助産学)の学位をもち、イニシアティブをとれる助産師を育成します。	

多くの共通科目により幅広い視野を培い、選択した専門領域において優れた思考力と看護実践力を育成します。

養成する
人材像

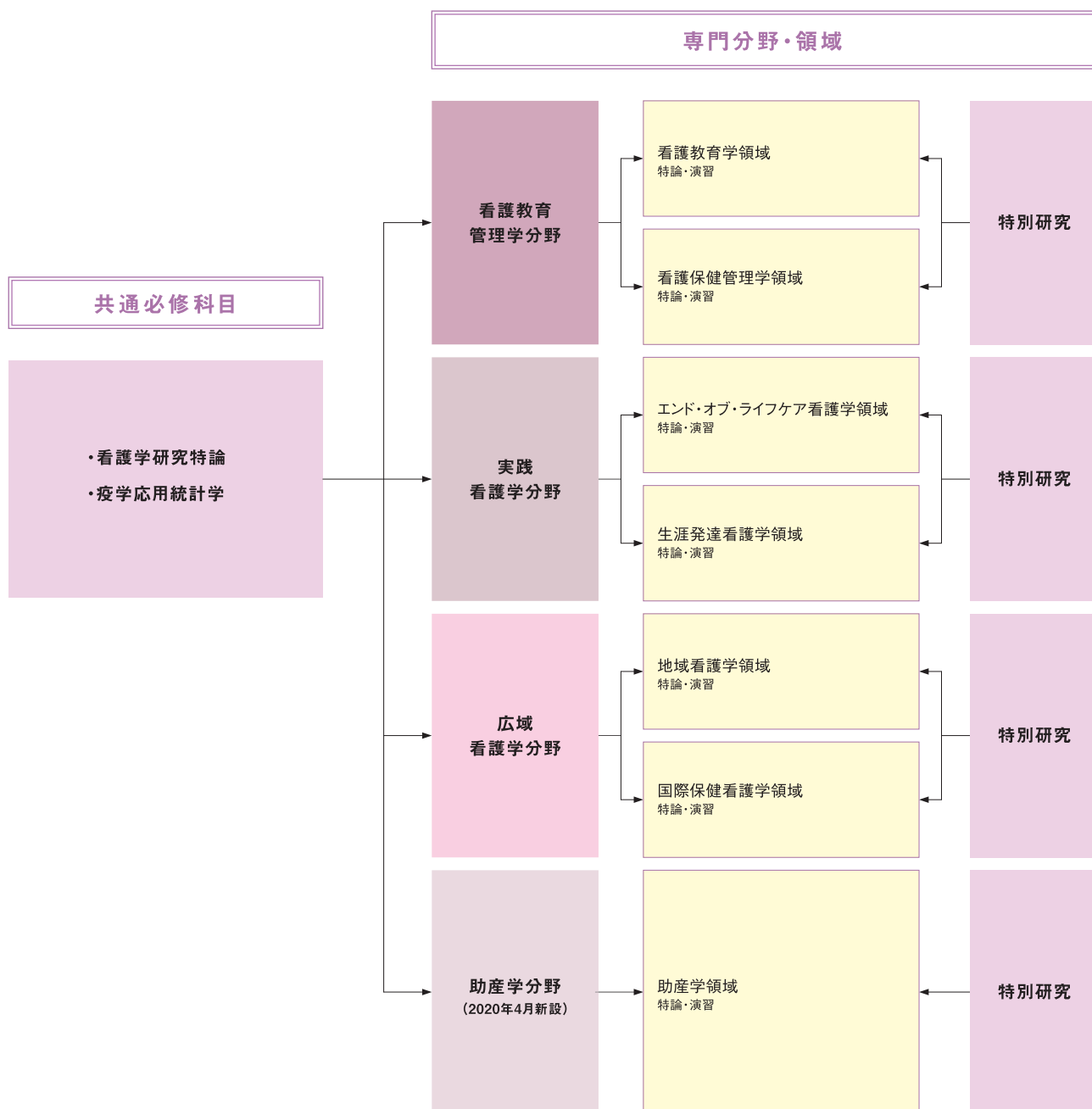
- 看護の実践・教育・管理の改善・改革を目指した研究に取り組める人材
- 看護を提供する場の力動を構造的に把握し、組織的に取り組める人材
- 研究的視点を持ち多職種・市民と協働してサービスの変革に取り組める人材
- 看護現場や教育現場で看護職者のリーダーや教育者として機能できる人材



共通科目により科学者としての分析力と総合力を培い、選択した専門領域で卓越した研究力・行動力・リーダーシップ能力を育成します。

養成する
人材像

- 研究者として自立的に活動し、高度な専門業務に従事する必要な能力を備えた人材
- 看護の研究によって実践や教育の質保証を図る人材
- 看護学の学問的発展に貢献できる卓越した人材
- グローバル社会で国際的に活躍できる人材





教授 篠崎 恵美子

学位 博士(看護学)

メールアドレス e-shinozaki@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。
専門は基礎看護学。基礎看護技術の根拠や教育方法、看護技術の習得・革新を研究テーマとしている。



教授 伊藤 千晴

学位 博士(看護学)

メールアドレス c-ito@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。
専門は基礎看護学、看護教育学。看護倫理を研究のテーマとしている。



准教授 山口 貴子

学位 博士(看護学)

メールアドレス t-yamaguchi@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。
専門は基礎看護学。基礎看護技術、患者のアセスメントに関することを研究テーマとしている。



准教授 服部 美穂

学位 修士(看護学)

メールアドレス m-hattori@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程修了。
専門は基礎看護学。基礎看護技術の根拠や教育方法、看護技術の習得・革新過程を研究テーマとしている。



教授 藤原 奈佳子

学位 医学博士

メールアドレス n-fujiwara@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。
専門は看護保健管理学。後縦帯骨化症の疫学研究、病院と地域を結ぶ退院支援システムを研究テーマとしている。



准教授 加藤 亜妃子

学位 博士(看護学)

メールアドレス a-kato@uhe.ac.jp

研究テーマ等

石川県立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。
専門は、エンドオブライフケア、緩和ケア、がん看護。エンドオブライフにある患者の家族ケアを主な研究テーマとしている。



教授 河野 保子

学位 博士(医学)

メールアドレス y-kawano@uhe.ac.jp

研究テーマ等

愛媛大学。
専門は基礎看護学、高齢者看護学。医療における患者の人権、特にインフォームドコンセントや自己決定、高齢者のQOL、自己効力感、世代継承性に関する内容を研究テーマにしている。また高齢者・認知症者のカフェのあり方などについても研究を進めている。



教授 倉田 節子

学位 博士(保健学)

メールアドレス s-kurata@uhe.ac.jp

研究テーマ等

広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了。
専門は小児看護学。「小児看護に携わる看護師への教育支援、教育プログラム開発」「看護師の人材育成とキャリアマネジメント」「子どもと家族への看護実践の質評価」などを研究テーマとしている。



教授 讃井 真理

学位 博士(看護学)

メールアドレス m-sanai@uhe.ac.jp

研究テーマ等

広島文化学園大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。
専門は母性看護学。看護学生の母性看護学実習におけるほめ言葉、育児期の母親への他者からかけられた言葉、女子大生の子宮がん検診を研究テーマにしている。



教授 富安 俊子

学位 博士(保健看護学)

メールアドレス t-tomiyasu@uhe.ac.jp

研究テーマ等

川崎医療福祉大学大学院保健看護研究科博士課程修了。
専門は母性看護学。看護学生の母性看護学実習におけるほめ言葉、育児期の母親への他者からかけられた言葉、女子大生の子宮がん検診を研究テーマにしている。

実践看護学分野

生涯発達看護学領域



教授 深谷 久子

学位 博士(看護学)

メールアドレス h-fukaya@uhe.ac.jp

研究テーマ等

広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了。
専門は、小児看護学、新生児看護学。NICUにおけるファミリーケア、先天性疾患をもつ子どもと家族のケアを主な研究テーマとしている。



教授 三並 めぐる

学位 博士(学術)

メールアドレス m-minami@uhe.ac.jp

研究テーマ等

愛媛大学大学院博士課程修了。
専門は小児看護学、学校保健。子どもとご家族の安寧と笑顔が広がることを支援。子どもの生活習慣の確立、タバコフリー(一次・二次・三次喫煙防止)の実現、救急法の普及、養護教諭の職務等を研究テーマとしている。



准教授 別宮 直子

学位 博士(医学)

メールアドレス n-bekku@uhe.ac.jp

研究テーマ等

愛媛大学大学院医学系研究科博士課程修了。
専門は精神看護学。精神疾患を抱える人々への支援について、自閉症スペクトラム障害をもつ人々とその家族への支援について、自律神経といった生理学的側面からの心身両面にむけた精神疾患を抱える人々への支援の可能性などを研究テーマにしている。



准教授 櫻井 香

学位 修士(看護学)

メールアドレス k-sakurai@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋市立大学大学院看護学研究科修士課程修了。
専門は高齢者看護学。地域で生活している高齢者へのケア、援助者に対する教育支援を研究テーマとしている。



准教授 中神 友子

学位 修士(看護学)

メールアドレス t-nakagami@uhe.ac.jp

研究テーマ等

名古屋市立大学大学院博士前期課程修了。
専門は成人看護学(急性期)、心血管疾患患者のQOL、看護教育を研究テーマとしている。



教授 異 あさみ

学位 博士(医学)

メールアドレス a-tatsumi@uhe.ac.jp

研究テーマ等

藤田保健衛生大学大学院医学研究科。
専門は公衆衛生看護学。睡眠保健指導、子ども虐待予防、メンタルヘルスを研究テーマとしている。



准教授 肥後 恵美子

学位 修士(看護学)

メールアドレス e-higo@uhe.ac.jp

研究テーマ等

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了。
専門は在宅看護学。施設入所高齢者の終末期ケア、在宅療養者の代替医療に関する研究をテーマとしている。



教授 西川 まり子

学位 Master of Public Health (New York)

メールアドレス m-nishikawa@uhe.ac.jp

研究テーマ等

ニューヨーク大学大学院国際地域保健教育(MPH)修了。
ジョンス・ホプキンス大学大学院公衆衛生で疫学を学ぶ。専門は国際看護学と国際疫学。「世界の国境を越えて移動する人々のヘルスプロモーションとITを使用したツール開発」「国際的なフィールドワークを含む現地の人々と在留邦人の健康について」等の国際保健看護学全般と、国際的な地図・地理情報(GIS)を使用した分析を研究テーマとしている。



教授 杉下 佳文

学位 博士(保健学)

メールアドレス k-sugishita@uhe.ac.jp

研究テーマ等

神戸大学大学院保健学研究科博士課程修了。
専門は母性看護学・助産学。「分娩進行における生物学的研究」「周産期のメンタルヘルスと子ども虐待予防」「胎児への愛着に関する介入」を研究テーマとしている。



准教授 谷口 通英

学位 修士(保健学)

メールアドレス m-taniguchi@uhe.ac.jp

研究テーマ等

神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程前期課程修了。
専門は助産学、母性看護学。周産期の女性とその家族につて、並びにハイリスク児の育児支援についてを研究テーマにしている。

広域看護学分野

地域看護学領域

国際保健看護学領域

助産学分野

助産学領域

令和3年度人間環境大学大学院 入学試験

学生募集要項および出願書類は本学ホームページよりダウンロードしてください。

人間環境学研究科人間環境専攻〈修士課程〉

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I 期	令和2年 9月14日(月)～9月28日(月)	令和2年 10月18日(日)	令和2年 10月23日(金)	令和2年 11月6日(金)
II 期	令和3年 1月18日(月)～1月29日(金)	令和3年 2月27日(土)	令和3年 3月4日(木)	令和3年 3月11日(木)

看護学研究科看護学専攻〈博士前期課程〉〈博士後期課程〉

方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
I 期	(入学資格審査申請期間) 令和2年 7月13日(月)～7月17日(金)	(入学資格審査結果通知) 令和2年 7月27日(月)		
	(出願期間) 令和2年 8月17日(月)～8月21日(金)	令和2年 9月5日(土)	令和2年 9月10日(木)	令和2年 9月18日(金)
II 期	(入学資格審査申請期間) 令和2年 10月12日(月)～10月16日(金)	(入学資格審査結果通知) 令和2年 10月22日(木)		
	(出願期間) 令和2年 10月28日(水)～11月6日(金)	令和2年 11月15日(日)	令和2年 11月19日(木)	令和2年 11月30日(月)
III 期	(入学資格審査申請期間) 令和3年 1月6日(水)～1月13日(水)	(入学資格審査結果通知) 令和3年 1月20日(水)		
	(出願期間) 令和3年 1月27日(水)～2月3日(水)	令和3年 2月20日(土)	令和3年 2月25日(木)	令和3年 3月5日(金)

ACCESS 交通アクセス

